



おおさか・すいたハウス
支援基金

病気とたたかう子どもと家族のために

寄附のお願い

「おおさか・すいたハウス」の移転を実現するには
皆様のあたたかいサポートが必要です!!

寄附目標額 **2億円**

※ふるさと納税制度が活用できます。



国立循環器病研究センターは日本最先端の医療機関であり、重度の心臓病のお子さんが国内のみならず国外からも治療のために訪れ、数年にわたって入院することも少なくありません。

同センターに入院する子どもたちとそのご家族を支えてきた滞在施設「おおさか・すいたハウス」が移転に迫られており、その移転を実現するために寄附を募集しています。



● ふるさと納税制度が活用できます

個人で寄附をする場合、原則として、2,000円を超える部分は一定の上限まで所得税・住民税から全額が控除されます。法人の場合は法人税計算上、全額損金に算入できます。

詳しくは、総務省「ふるさと納税ポータルサイト」をご覧ください。

●おおさか・すいたハウスとは？

国立循環器病研究センターに入院する小児患者のご家族が、1人1日1,000円で滞在できる施設で、運営はボランティアと寄附によってまかなわれています。

平成17年のオープン以降、これまでの約10年間で、延べ5,000以上の家族が利用し、宿泊は43,000泊に及んでいます。

いま、平成30年度を目途とした、国立循環器病研究センターの北大阪健康医療都市（健都）への移転に伴い、この患者家族にとって必要不可欠な「おおさか・すいたハウス」についても、移転する必要が生じています。



【ご家族の声】

生後2週間の時に生きているのが『奇跡』と言われた息子ですが、術後にはハイハイ、伝い歩きと驚く成長を見せています。

病気が分かった時は、現実も受け入れられない状況でしたが、ハウスでお母さん達と交流を持つことができ、病気のこと、これからのことなどアドバイスも頂けて、ハウスで知り合ったお母さんたちの繋がりはずごく貴重な存在です。



吹田市
北大阪健康医療都市推進室



おおさか・すいたハウス支援基金

みなさまのあたたかいご支援をお願いします



〒564-8550 大阪府吹田市泉町1-3-40

TEL: 06-6318-6317 FAX: 06-6368-9901

E-mail: kento-kifu@city.suita.osaka.jp

すいたハウス移転寄附

検索